

あなたがふと、 未来の世代のことを考えるのは、 どんな時ですか？



食料品 どんどん高くなるな・・・
これからもこのまま食費が
上がっていったらどうなるんだろう？
と思ったとき

夏ってこんなに暑かったっけ！？
暑すぎるんじゃない？と思った時



美しい自然の中で
幸せだな～と思ったとき
満たされた気持ちを
誰かと分かち合いたくなったとき

このままで未来はほんとに大丈夫なんだろうか？
と思うときも、
この幸せをぜひ未来の子どもたちにも！
と思うときもあると思います。



私たち「NPO未来世代のための市民委員会」は、
今を生きる私たちも、これから生まれてくる未来世代も
ともに生きやすい世界であるように、
英国ウェールズで2015年からはじまっている
Well-being of Future Generations Act
(和訳名:未来世代のためのウェルビーイング法、通称:未来世代法)
から学び、私たちの暮らしのすぐそばにある地方自治体で、
少しずつ地域課題に活かす働きかけをしています。



Acting **today** for
a better
tomorrow

よりよい**明日**のために
今日行動する

「未来世代法」「未来世代条例」を日本で！



未来世代法とは

国や公共機関がものごとを決めるときに、「その決定は、今だけではなく、未来世代も大事にできる決定なのかどうか」をチェックし、レポートを公表することを義務付けた法律です。

持続可能な開発 = SDGsが、努力目標としてだけでなく、国内の法律として法政化された世界ではじめての法律だと言われています。

未来世代法ができたウェールズでは、実際にどんなふうになったの？

●ずっと前に決まっていた高速道路建設が、未来世代法ができることでもう一度検討してみてもう一度やめになりました。公害を減らすことと、健康を考えたら、車で行き来する街よりも、歩いて楽しい街がいいね！ということで、街の緑化が進んだり、道路にペインティングを施したり、子どもたちには自転車教育を、高齢の方にはウォーキングプログラムが作られました。



●ゴミやリサイクルについての取組もご紹介します。ウェールズ政府が主導して、循環型経済に挑戦しています。

さまざまな物の修理が得意なボランティアが集まる「修理カフェ」。寄付された不用品を必要な人が借りれる「物の図書館」。リサイクル率はすでに世界最高水準ですが、なんと！2050年に「廃棄物ゼロ」を国として宣言しています。どうしてそんなことができるんでしょう！？

未来世代も大事にできるかどうか、どんなふうにチェックするの？

- 長期的な視点を持って考えられているか？
- 「もしも」のことが考えられているか？（予防原則）
- 多様な市民の声や立場を含まれているか？
- 市民や企業、学校など、さまざまなステークホルダーと協働できる仕組みになっているか？
- 縦割り行政を超えて、協働できるしくみになっているか？
- 情報公開ができていますか？、、、など

日本の地方議会でも！



東京都杉並区、埼玉県日高市、北海道二セコ町などの地方議会でも一般質問の中で未来世代法を使っています。少しずつ知っていただいて、地域課題に未来世代法を活かしていただく取り組みの成果が芽を出してきています。

さて、あなたは何かをする？

- まずは情報を！
→WEBページやSNSをチェック！
→メルマガもあるよ！



- イベントに参加してみる
→WEBページやSNSをチェック！

- 説明を聞いたり、自分の地域で何ができそうか相談したい
→メールしてね！
miraseda@futuregenerations.jp

- 私は寄付で応援します！
こちらからお願いします→



特定非営利活動法人未来世代のための市民委員会（京都市右京区）
未来世代のためのウェルビーイング法日本版プロジェクト（ミラセダ）

MAIL：miraseda@futuregenerations.jp
WEBページ：https://futuregenerations.jp
TEL：090-5323-7721（河合）



ホームページやSNSが
5つ入っています。